

JR加古川線（西脇市－谷川間）の維持・利用促進について

2 JR加古川線WTとして取り組む必要があること

■ 通常利用 ■ 観光利用 ■ その他利用

● 各団体で行いたい利用促進策で選ばれた案

	①運行形態・サービスの整備	事業主体		
		交通事業者	行政	住民
		サイクルトレインの実施	●	●
乗車数、額に応じたポイント付与や地域特産品への交換システムを整備	○	●		
貨客混載列車の運行	○		○	
列車内に学習スペースを設置	○			
スマート化の検討(自動運転・無線運転等)	○	○	●	
学生の試験期間に対応した増便	○		●	
企業広告のラッピングで収益増加	○	●	●	
MaaSの導入	○	○		
車内をイベント、会議会場として活用	○	●	●	
②列車利用における利便性の向上		事業主体		
		交通事業者	行政	住民
ICOCAポイント付与の対象区間への指定		○	●	
列車内にICカード精算機を導入		○	○	
ハンディICOCAを行政が購入し、貸し出しを実施			●	
電子チケットの導入		○	○	
シルバーカーや杖を置くスペースの設置		○		
車内放送の実施(観光案内や音楽)		○		
列車にWi-Fi設置		○	○	●
③駅環境等充実のための整備		事業主体		
		交通事業者	行政	住民
カフェの誘致(スターバックス、K-POPカフェ)		○	○	
無人コンビニの設置		○	○	
トイレ、待合スペースの整備		○	○	●
駅舎に学生の学習スペースを設置		○	○	
駅にスマートフォンの充電設備の導入		○	○	
駅舎の美装化			○	●
駅に公共施設サービスを導入		○	○	
へそ公園に空飛ぶ車のEVポートを建設			○	
駅の待合室にWi-Fiを設置		○	○	
④沿線地域活性化によるにぎわいの創出		事業主体		
		交通事業者	行政	住民
駅周辺をたまり場スペースとなる創造的空間を整備			○	●
地元商店と連携した鉄道利用者へのインセンティブの検討(割引制度の導入)			○	●
駅舎近くの給水、トイレマップを制作			○	○
ボランティア駅長の設置		○	○	○
クラウドファンディングを活用して新規事業の立ち上げを支援		○	○	●
ふるさと納税を活用した駅の利便性向上の取組		○	●	
設備投資補助の実施			○	
沿線風景のパノラマ地図の作成(観光利用促進)		○	●	●
駅付近に山田錦で作った日本酒の試飲スポットを設置			○	●
駅舎、駅周辺に地域のコミュニティスペースを設置		○	○	●
シニア向けイベントの開催			○	●
駅舎およびその周辺での朝市を開催			○	●
文化的なパブリックスペースの創出(地元デザインによる壁画、彫刻、絵画等)		○	○	●

※赤字はアンケートによる提案

■ 通常利用 ■ 観光利用 ■ その他利用 ● 各団体で行いたい利用促進策で選ばれた案

	⑤誘客促進事業の推進	事業主体		
		交通事業者	行政	住民
まちづくり・観光振興等の地域戦略	トロッコ列車を導入	○	○	
	ラッピング電車の再開（人気アニメとのコラボ、恐竜、国鉄のレトロ仕様で塗装）		●	
	イベント列車（ビール列車、カフェ列車、買い物列車、お化け列車、リゾート列車等）を運行	○	○	
	子育て世代への家族型乗車体験イベント等を開催	○	●	●
	健康イベントの実施（参加ポイントや歩数に応じたポイント付与）		●	●
	車内展示会の実施（列車絵画展や、レトロな写真展等）	○	○	
	車内ラッピング（天井にパノラマ地図、壁面に観光マップ、恐竜シート）	○	○	
	鉄道を利用者してイベント会場へ向かう参加者の参加費無料化、割引		●	
	ハイキングイベントの実施		●	●
	GPS連動型ゲームとコラボ企画（ポケモンGO、ドラクエウォークなど）	○	○	
	へそ公園を利用した野外ライブの実施		●	●
	駅の敷地を利用したお散歩マルシェの開催（キッチンカー）	●	○	○
	⑥二次交通等との連携	事業主体		
		交通事業者	行政	住民
地域と駅を結ぶループバスやデマンド交通の導入	●	●		
高齢者が主に利用する施設と駅を結ぶループバスの運行		●		
各駅のタクシー会社とコラボして、タクシー運賃の割引化		○		
パーク&ライド、キス&ライド環境の整備		○	●	
駐車場・駐輪場の整備	○	●		
グリーンスローモビリティや自動運転バスを周回		○		
レンタサイクルの導入		●	○	
地域住民等関係者との連携	⑦鉄道利用者への支援	事業主体		
		交通事業者	行政	住民
	学生向け年間定期券を発行	○		●
	交通弱者に対する助成制度の導入	○	○	●
	駅周辺駐車場の利用者への助成制度の創設	○	●	
	企画乗車券の導入	○		
	⑧鉄道利用のPR	事業主体		
		交通事業者	行政	住民
	地元企業に対し、通勤、出張時のJR利用に対する呼びかけ		●	●
	地元住民への利用促進PRの実施		●	●
	スマート通勤キャンペーンの実施		●	●
	列車の時間にあわせた始業・就業時間の検討（学校含む）		●	○
	地元企業による鉄道利用の促進		○	○
	⑨地域住民とのつながり強化	事業主体		
		交通事業者	行政	住民
	地元住民によるサポーターの立ち上げ		●	●
	加古川線を利用した遠足の実施		●	●
	小中学生に対する社会学習の実施（乗車体験・鉄道の歴史授業等）		●	●
	高齢者の井戸端会議列車を行い高齢者が電車内で交流する機会を提供		●	●
まちづくり活動団体等のネットワーク化と駅を活用した活性化事業の推進		●	●	
周辺地域の名物・名店とコラボした啓発活動		●	●	
地域住民による駅の美化ボランティア			●	
鉄道を糧としたシビックプライドの醸成		○	○	
その他の意見	その他	事業主体		
		交通事業者	行政	住民
	年間予約シートの導入	○	○	
	バスによる加古川線増便	○	○	
	停車中の車両を利用した運転士体験スクールの実施	○	○	
	野村（現西脇市）駅～谷川駅間開業100周年（1924年12月、播丹鉄道～） 電化開業20周年（2004年12月）記念行事の実施		○	○
	自習環境整備用地元木材の提供、木材への企業広告の募集	○	○	
	きめ細かなデータ収集の実施（乗客への聞き取り、OD調査）	○	○	
地元の中高生美術部デザイン等によるヘッドマークの作成	○	○	○	

※赤字はアンケートによる提案